

# Anthony Hewitt

## piano recital

新緑を待つ北国の冬。アジアを含めて精力的に演奏活動を続けるアンソニーと札幌の第一ヴァイオリン奏者河邊俊和。昨年初めて共演した二人が一年を経て再会する。

### program

ベートーベン

ロンド&カプリッチョト ハ長調 作品129

ピアノ第21番 ソナタ ハ短調 作品53

ワーグナー

トリスタンとイゾルテ 愛と死

2020年

2 / 11 <火・祝日>



### guest

河邊 俊和

札幌交響楽団 第一ヴァイオリン奏者

1967年神奈川県出身 元九州交響楽団コンサートマスター NHK交響楽団客員奏者を経て札幌交響楽団に第2バイオリン首席奏者として2000年に入団 2005年より第1バイオリン奏者ソロ、室内楽ソリストとして九州交響楽団や札幌市内の弦楽アンサンブルとたびたび共演、好評を得る ソロリサイタルは東京、福岡、札幌で開催 全日本学生音楽コンクール東日本第2位 第4回日本モーツァルト音楽コンクールで入選 日本クラシックコンクール北海道の部で審査員を2007年より毎年つとめ後進の指導も行っている。



### アンソニーヒューイット

☆英国の才能あるピアニストの一人と評され、ワシントンDCのウィリアム・カベルコンクールで優勝して以来、演奏活動をしています。☆アメリカのナショナル交響楽団やイギリスの英国王室内管弦楽団との共演をはじめ、ロンドンのロイヤルフェスティバルホールやバーミンガム・シンフォニーホールなど英国の主要ホールで演奏しています。☆ウィグモアホールでのリサイタルは1998年デビュー以来8回を数え、ロンドンのキングズプレイス、マンチェスターのブリッジウォーターホール、エジンバラのアッシャーホールなどで室内楽演奏者としても活躍してきました。また、パークハウス賞を受賞したダイメンションピアノトリオのメンバーで、このトリオの2014年度版ファンタジートリオは「稀に見る豊かな深み」とサンデータイムズ紙で絶賛されました。★ユーディ・メニューヒン学校でシモン・ニコル、セタ・タニエルに師事し、17歳でフィラデルフィアのカーティス音楽院に入学しました。★現在、バーミンガム音楽院のピアノ教授をするかたわら、故郷の町に国際的な音楽家を招く目的で自らが2003年に設立したウルベストン国際音楽フェスティバルの監督をするなど多彩な音楽生活を送っています。

開演 19:00 開場 18:00

ふきのとうホール

札幌市中央区北4条西6丁目3-3 六花亭札幌本店6階

お問合せ

アンソニーヒューイットの会・札幌

連絡先 ☎ 090-8909-0634

ticket  
(全席自由)

一般 2,500円  
学生 1,500円